9 次世代施設園芸の取組拡大

【2.700(2.540)百万円】

対策のポイント

次世代施設園芸の取組を拡大するため、次世代施設園芸への転換に必要な技術の習得のための実証・研修、当該技術の地域展開等を支援するとともに、 大規模な次世代施設園芸拠点の整備とその成果やノウハウの分析・情報発信 を支援します。

く背景/課題>

- ・施設園芸は**野菜等の周年安定供給に貢献**するとともに、**所得の向上と地域の雇用創出** が見込まれる有望な部門です。
- ・農家数が減少傾向にある中、野菜等の供給力を確保するため、高い生産性を実現しているオランダの施設園芸も参考に、①周年・計画生産が可能な高度環境制御技術、②地域エネルギー活用・省エネルギー化技術、③雇用型の生産管理技術の全てに取り組む「次世代施設園芸」を拡大していく必要があります。

政策目標 -

施設作トマトの1割以上で次世代施設園芸を実践

<主な内容>

1. 次世代施設園芸拡大支援事業

1. 200(1.040)百万円

(1) 次世代施設園芸技術習得支援事業

次世代施設園芸の要素技術(①高度環境制御技術、②地域エネルギー活用・省エネルギー化技術、③雇用型の生産管理技術)の実証・改良、実証温室での研修 受入等により技術を習得する仕組みを確立し、各地域への展開を支援することで、 次世代施設園芸への転換を推進します。

(2) 次世代施設園芸地域展開促進事業

次世代施設園芸の要素技術を習得した農業者向けに、次世代施設園芸拠点の成果に関するセミナー等の情報発信、拠点を活用した研修等の人材育成、次世代施設園芸拠点のノウハウを分析・整理した手引きの作成等を支援します。

補助率:定額、1/2以内

【事業実施主体:生産者・民間企業・都道府県等から構成されるコンソーシアム等】

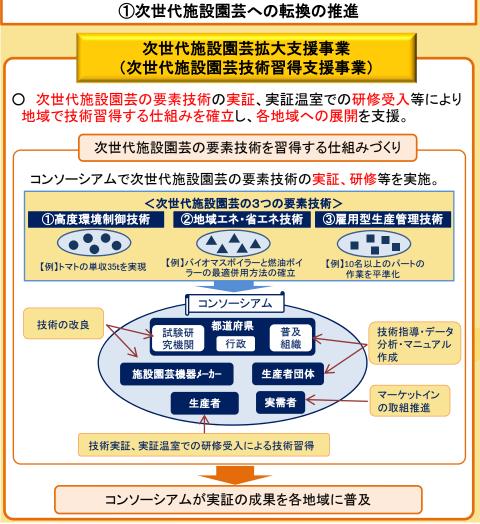
2. 強い農業づくり交付金(優先枠) 1,500(1,500)百万円 地域エネルギーと高度環境制御技術を活用した大規模な次世代施設園芸拠点の整備について、優先枠を設置して積極的に支援します。

> 交付率:都道府県へは定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等) 事業実施主体:都道府県、市町村、農業者の組織する団体、事業協同組合等

お問い合わせ先:

生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室 (03-3593-6496)

- 次世代施設園芸の取組拡大に当たっては、<u>次世代施設園芸への転換に必要な技術を習得した農家が少ない</u>こと、 大規模な次世代施設園芸は多額の資金やまとまった用地の確保等が必要となることが課題。
- このため、2つのアプローチで次世代施設園芸の取組を拡大。
 - ① 次世代施設園芸への転換に必要な技術の習得のための実証・研修、当該技術の地域展開等を支援。
 - ② 大規模な次世代施設園芸拠点の整備とその成果やノウハウの分析・情報発信を支援。



次世代施設園芸の取組拡大のイメージ

大規模な次世代施設園芸 (モデル拠点) 処点の拡大 次世代 次世代施設園芸 施設園芸の取組拡 次世代施設園芸に 取り組む技術力 のある農家 従来型 施設園芸 現在 10年後の姿 支援後

②大規模な次世代施設園芸の推進

強い農業づくり交付金 (次世代施設園芸拠点整備優先枠)

○ 地域エネルギーと高度環境制御 技術を活用した大規模な次世代施 設園芸拠点の整備を支援。





生産から出荷までの施設の集積

次世代施設園芸拡大支援事業(次世代施設園芸地域展開促進事業)

- 〇 次世代施設園芸拠点の成果に 関するセミナー等の情報発信等 の拠点の取組を支援。
- 次世代施設園芸拠点のノウハ ウを分析・整理した手引き等の作 成を支援。



